

# LETTER OF CONFORMANCE

Statement No.:  
BD0XX-2020-OAS-KOBE-DNVGL

## 株式会社 明電舎 MEIDENSHA CORPORATION

〒141-6029 東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower

株式会社明電舎が三井住友銀行をエージェントとして締結するシンジケーション方式による2020年9月23日付コミットメントライン契約（サステナビリティ・リンク・ローン）は、サステナビリティ・リンク・ローン原則（ローンマーケットアソシエーション/LMA、2018年）及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2020年版（環境省、2020年3月）に基づき設定された要求事項を満たしており、野心的なサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）を達成することを奨励するローンであることが確認された。

本適合書簡は、以下のスコープに対して有効である：

- 対象組織：株式会社明電舎
- 対象融資：サステナビリティ・リンク・ローン（エージェント：三井住友銀行）
- 対象活動：上述の原則及びガイドラインに基づくサステナビリティ・リンク・ローンに関連する活動

Place and date:  
Kobe, 18  
September, 2020

For the issuing office:  
DNV GL - Business Assurance  
Sannomiya Chuo Bldg. 9th Floor,  
4-2-20, Goko-dori, Chuo-ku, Kobe 651-0087



Naoki Maeda  
Management Representative

### About DNV GL

DNVGL ビジネスアシュアランスグループは独立した第三者評価機関として、評価サービス提供に関連し、株式会社明電舎とは事実及び認識においていかなる利害関係も持たないことを宣言します。

また、我々の評価はここに表記される対象組織から提供された情報が正確であることを前提としており、提供された情報の正確さについて監査やテストを行いません。この評価結果は、融資の財務的なパフォーマンス、いかなる投融資の価値、もしくは長期的なESGパフォーマンス達成の確約を提供するものではありません。

サステナビリティ・リンク・ローン  
 適切性評価プロトコル(要求事項)と DNV GL 評価結果

No.	要求事項 (Requirements)	DNV GL 評価結果 (Findings)
1	<p><b>包括的なサステナビリティ戦略</b>  <b>Overall Sustainability Strategy</b></p> <p>a) <b>目的(Objectives)</b>            借り手は、サステナビリティの目標が、借り手のサステナビリティ戦略として設定され、また設定した目標(サステナブルパフォーマンスターゲット : SPTs)とどのように整合しているかを、貸し手に伝達すべきである。</p> <p>b) <b>関連性(Context)</b>            借り手は、借り手のサステナビリティに関する組織全体の目標、戦略、方針、プロセス(手順)が、どのように位置づけられるか、明確にすることが推奨されている。</p> <p>c) <b>基準(Standards)</b>            借り手は、借り手が準拠しようとしているサステナビリティの基準や認証を開示することが推奨されている。</p>	<p>a) DNV GL は、株式会社明電舎(以下、明電舎)がサステナビリティ・リンク・ローンで掲げる3つのサステナビリティの目標①「環境貢献事業の拡大」②「化学物質の適正管理」③「バリューチェーンのマネジメント強化」が、明電舎の「中期経営計画2020 行動計画(2018~2020 年度)」の環境目標として設定されていることを確認した。</p> <p>また、それぞれの目標①②③に対する SPTs として①「環境貢献事業による CO<sub>2</sub> 排出削減貢献量 : 90 万 t」②「VOC 排出量 : 80t 以下」③「グリーン調達率 : 90%以上 (明電舎基準)」と整合していることを貸し手[株式会社三井住友銀行(以下、SMBC)]に伝達していることを確認した。</p> <p>b) DNV GL は、明電舎のサステナビリティに関する取組が、明電舎の環境ビジョン、戦略的な環境経営に関連して位置付けられていることを確認した。</p> <p>c) 明電舎が準拠するサステナビリティの基準(評価基準)は、①②③共に明電舎の自社算定方法に基づき評価される。DNV GL はアセスメントを通じ、明電舎の評価基準と自社算定方法が妥当であることを確認した。</p>
2	<p><b>設定した目標の重要性</b>  <b>Target Setting -Meaningful</b></p> <p>a) 設定した目標(SPTs)は、借り手のビジネスにとって野心的かつ重要であり、それは事前に決定された成果目標とサステナビリティの改善に関連付けられるべきである。</p> <p>b) 借り手は、市場参加者が、いずれの目標も最近の達成レベルに基づいているということを認識できるようにすべきである。</p> <p>c) 重要業績評価指標(KPIs)と貸出条件の関係は適切に設定されている。</p>	<p>a) 3つのSPTsは、明電舎の直近2カ年(2018年度、2019年度)の実績をベースに設定され、直近2カ年よりも更なる改善を企図している。また、DNV GL は3つのSPTsが明電舎の環境ビジョンで定める他の6つの環境目標と比べて、野心的な目標であることについて合理的な説明を受けており、明電舎のビジネスを通じた環境貢献として重要であると判断した。3つのSPTsは1項a)の通り、成果目標とサステナビリティの改善に関連付けられている。</p> <p>b) DNV GL は、明電舎の掲げる3つのSPTsが最近の達成レベルに基づき設定され、市場参加者への開示を通じて市場関係者が認識できることを確認した。</p> <p>c) DNV GL は貸出条件に関するKPIsと3つのSPTsが一義的な達成是非の他、それぞれの達成・進捗状況に基づき総括的に評価される計画であり、その総括的な評価方法が、具体的かつ適切な方法で設定されることを確認した。</p>
3	<p><b>レポートング Reporting</b></p> <p>借り手は、可能な場合には、設定した目標(SPTs)に関連する最新の情報を容易に入手できるようにし、少なくとも年に1回、ローンに参加している機関へ提供すべきである。また、借り手は、設定した目標(SPTs)に関連する情報を含むレポートを公開すべきである(この情報は借り手の年次レポートやサステナビリティレポートに含まれる場合もある)</p>	<p>DNV GL は、明電舎が SPTs に関連する最新情報を年次で発行している「明電舎レポート」に記載し、明電舎ウェブサイトでの開示を通じてローン参加機関*へ提供する予定であることを確認した。</p> <p>*当該サステナビリティ・リンク・ローンのシンジケートローン団の構成員</p>
4	<p><b>レビュー Review</b></p> <p>借り手が設定した目標(SPTs)に対する成果は、外部レビュー(監査員、環境の専門家、独立した格付け機関等)により検証されることが望ましい。外部レビューを実施しない場合は、借り手内部の適切な部署で評価、検証を行うことが望ましい。</p>	<p>DNV GL は、明電舎が SPTs に対する成果を事前に定めた算定方法に基づき適切に評価することを確認した。また、DNV GL は、SPTs の評価結果が外部レビュー若しくは明電舎内部の適切な部署で検証され、それらは明電舎ウェブサイト等で開示される計画であることを確認した。</p>